

## 令和2年度 当初予算案



新長期計画のもと、次なる一歩を踏み出します  
 (写真はファミリースポーツチャレンジの様子)

### 次なるステージへ

### みんながつながる飛躍予算

令和2年度の江東区当初予算案は、一般会計で2,132億9,800万円と前年度に比べ3.8%増となりました。  
 令和2年度当初予算は、2月19日から始まった令和2年第1回区議会定例会の審議を経て、決定します(2面に主な事業)。

#### 次なるステージへ

新長期計画の初年度を迎えるにあたり、災害対策等さまざまな施策を積極的に打ち出すほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、区一丸となって取り組むなど、みんなでつながりを持って江東区を次なるステージへ飛躍させていく予算として編成しました。

#### 令和2年度予算の特徴

東京2020大会の成功に向けた取り組みとして、区独自ポランティアによる大会期間中の来訪者へのおもてなしを実施するほか、聖火リレーのセレモニー開催や沿道での盛り上げなどを実施します。



江東区長 山崎 孝明

#### 安全で安心して暮らせる

#### 地域社会の実現へ

2020年の新たな時代の幕開けを迎えた本区では、区一丸となり災害に強いまちづくりや保育待機児童の解消、子育て・教育環境の整備、高齢者・障害者支援、観光振興、環境対策など、区

政各般にわたる課題に積極的に取り組んでいく必要があります。また今夏開催される東京2020大会の成功に向けて、江東区を次なるステージに飛躍させるため、「次なるステージへみんながつながる飛躍予算」をキックオフに、令和2年度の予算編成を行いました。

令和2年度予算では、激甚化する自然災害への対策の強化や社会経済情勢の変化に伴う本区の行政需要に対応するための施策を確実に盛り込み、一般会計の当初予算規模は、2,132億9,800万円、前年度比3.8%の増となり、過去最大の予算規模となりました。

「スポーツと人情が熱いまち江東区」を目指します。昨年実施した江東区政世論調査では、江東区に「ずっと住みたい(住むつもり)」、「当分は住みたい」と答えた方の割合は90%と引き続き高い定住意向がありました。

#### 行財政改革の推進

そのほか、防災備蓄用ラジオの全戸配布や、拠点避難所となる区立小・中学校等の体育館に外部電源接続装置を設置するなど、災害時に誰もが情報を得られる環境等を整備していきます。

#### 新型コロナウイルス感染症

冷静・正確な対応で感染予防を

(詳細5・6面)

区分	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	2,132億9,800万円	2,054億 700万円	3.8%増
国民健康保険	496億3,900万円	512億 200万円	3.1%減
介護保険	367億7,600万円	355億1,000万円	3.6%増
後期高齢者医療	105億2,300万円	100億5,200万円	4.7%増
計	3,102億3,600万円	3,021億7,100万円	2.7%増

など、景気動向や税制度の改正による影響を受けやすい財政構造であるため、中・長期的な視点から先行きを楽観視できる状況ではありません。区では、事業の見直しや再構築、全事業の総点検を推進するほか、職員定員の適正化に努め、将来に向け安定的かつ継続的な区民サービスを提供できる財政基盤の確立に努めていきます。

問 財政課予算担当  
 ☎(3647)1760  
 FAX(3647)9345